

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターおひさま (児童発達支援)		公表日		2025年 3 月 12 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2	・パーティションを活用し、空間を分けている。広さ的にも丁度良い。 ・人数に応じて2部屋に分けたりと配慮出来ている。	・1クラスを3グループ(部屋)に分けられるスペースがあるといいのではないか。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	6		・子どもの特性に応じた職員配置が好ましいと思う。 ・1クラスを3グループに分けると職員はもう少しいてもいいのではないか。 ・職員の休みによっては、少ないと感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	・構造化の工夫をしている。 ・絵カードでやるべきことを目視で確認できる環境にある。	クールダウン出来るスペースが欲しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	3	・その日の子どもの状況に応じ、個別の部屋に移動でき、落ち着いて過ごす環境作りが出来ている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	3		・一部の職員が負担していることが多いと感じる。 ・PDCAサイクルを理解している人が少ない。研修の機会を与えてほしい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2		・知らない人が多い。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・会議を設けて、業務について話し合う場が持たれている。情報共有も出来ている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1		・積極的な人は研修に行っているが、どの研修に行けばいいのか分からない人が多い。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	・HUG上で常に支援計画が確認できるので課題などを把握しやすい、共有出来ている。 ・計画が基準となるよう、職員に向けて、とても声かけをしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	4		・アセスメントについては、スキルの向上が求められる部分だと思う。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1			

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		・季節に応じたプログラムを取り入れていて良い。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2		・行ってはいるが、内容の見直しやコミュニケーション不足はある。 ・忘れる人、感情的な人が多く、連携を図れない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1		・前日休みの職員への情報共有が不足している時もある。 ・忘れる人や感情的な人が多く、共有していても意味がない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			・客観的な記録を取ることにスキルアップは必要。 ・声かけをしているが、定着しない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	・申し送り書を作成し、相互理解できるよう取り組めていて良い。（その際、保護者の意向も聞いていて安心できると思う）	・わからない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	1	・子ども部会などを通して、取り組んでいる。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11		・外部からの専門家が定期的に支援への助言をしていて、質の向上へ繋がっている。 ・外部研修の機会が提供時間の都合上少ない。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	1		・わからない。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	・園庭の解放などを行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		家族支援プログラムや講話の情報などを伝達出来ている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3	保護者会などの交流の場を数回設けていて保護者同士の交流、子どもの交流が出来、また園のことも知ってもらえる良い取り組みだと思う。	・働いている人が多く、参加者が少ない。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11			・園庭開放は良い取り組みだと思う。マルシェも良い機会である。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2			周知しているか？には自信がない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			・服薬については、ボードに名前を記入し、皆が把握できるよう配慮している点は良い。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9 無回答：1	1			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8 無回答：1	2			・周知しているかまでは、分からない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			・ヒヤリハットについていつでも共有できるよう会議の場で皆で検討出来て良い。	・ヒヤリハットの報告件数は、少ないと感じる。報告する基準が個人判断になっている？
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1		契約時に説明や書面の交付が行われていると認識している。	契約時に説明を行い、一括同意・署名を頂いているが、携わらない職員は知らない。職員間で周知し、説明の内容を誰もが閲覧できるよう対応が必要。	